

- 第1回/佐倉 一徳さん NHK長野放送局企画総務部副部長 樋口 博さん 長野市産業振興部観光課課長
- 第2回/久米 えみさん ながのクラッセ会長 樋口 敦子さん ながのまちづくりカフェメンバー
- 第3回/鷺沢 幸一さん アスレながの事務局長 室賀 豊さん 長野市アイスホッケー協会理事
- 第4回/清水 隆史さん フォトグラファーほか 常盤 昭二さん CMディレクター
- 第5回/虎羽里(トラバリ)ゼーラさん アールヴェーダ・健康セラピスト
- 第6回/竜野 泰一さん 株式会社エーシーエ設計 取締役副社長【一級建築士】
- 第7回/木田 勇さん 信濃グランセローズ監督
- 第8回/荻原 健司さん 参議院議員・五輪金メダリスト
- 第9回/松島 憲一さん 信州大学大学院農学研究所 准教授
- 第10回/松岡 保正さん 国立長野工業高等専門学校 環境都市工学科教授
- 第11回/浜 このみさん クッキング・コーディネーター
- 第12回/角本 浩二さん バランスアドバイザー 長野県健康管理士会会長
- 第13回/針谷 友久さん 東京中小企業投資育成株式会社 主任(長野県担当)
- 第14回/水野 守也さん 長野市総務部次長 兼庶務課長
- 第15回/バドゥ・ヒエイラ監督、薩川了洋コーチ、貞富信宏キャプテン
- 第16回/町田 良夫さん 社団法人長野市農業公社 常務理事
- 第17回/中山 修さん 中山法律事務所 弁護士
- 第18回/塩澤 研一さん (財)いのちの森文化財団副理事長 株式会社水輪ナチュラルファーム代表取締役
- 第19回/小出 陽子さん (同)ふきっ子的お八起代表/信州おやきブランド化委員会 研究会リーダー
- 第20回/宮城 恵美子さん (有)宮城商店専務取締役/木の花屋
- 第21回/志村 雅由さん NPO法人 飯綱高原よっころしよ 代表理事
- 第22回/薩川了洋さん AC長野パルセイロ新監督
- 第23回/石沢 一男さん (有)田舎工房 代表取締役
- 第24回/新谷 志保美さん バンクーバーオリンピック代表 竹村製作所 勤務
- 第25回/越 和宏さん スケルトン競技3大会オリンピック日本代表 システックス所属
- 第26回/鈴木 政一さん 長野パルセイロ・アスレチッククラブ強化本部長
- 第27回/千村 尚司さん 千村ブレイン代表・ソムリエ
- 第28回/川崎 史郎さん フリーライター・市民記者ネット代表
- 第29回/安藤 長一さん 篠ノ井消防署署長、緊急消防援助隊長長野県隊長(第二次派遣隊)
- 第30回/マブソン 青眼さん 俳人・比較文学者
- 第31回/井上 裕子さん 信濃毎日新聞社編集局地域活動部長・編集委員
- 第32回/田幸 淳男さん 信越放送取締役相談役
- 第33回/飯室 織絵さん 観光客向けゲストハウス「1166/バックパッカーズ」運営
- 第34回/相原 哲さん ながの町神輿連合会武蔵会 会頭
- 第35回/小林 亨さん 日本オリンピック委員会(JOC)勤務
- 第36回/薩川了洋さん AC長野パルセイロ監督
- 第37回/小宮山 義光さん 日本野鳥の会長野支部会長
- 第38回/塩澤 研一さん 農業生産法人株式会社水輪ナチュラルファーム代表取締役(財)いのちの森文化財団 副代表理事
- 第39回/因田 達男さん NTT東日本 長野支店長
- 第40回/山田 隆さん しなの鉄道株式会社 専務取締役
- 第41回/藤岡 牧夫さん イラストレーター・絵本作家
- 第42回/矢澤 秀成さん 園芸研究者/ながの花と緑そして人を育てる学校校長
- 第43回/近藤 京子さん カウンセラー/NPO法人「わくわく志事研究所」所長
- 第44回/栗田 貞多男さん 写真家
- 第45回/鴨志田 明弘さん 野村不動産アーバンネット株式会社 企業不動産部専任部長
- 第46回/天野 良彦さん 信州大学工学部物質工学科教授
- 第47回/美濃部 直彦さん AC長野パルセイロ監督
- 第48回/丸田 勉さん 脚本・演出家 森の家 林りん館館長
- 第49回/浅野 邦子さん 株式会社第一 代表取締役会長
- 第50回/平沢 幸子さん 長野朝日放送 アナウンサー

- 第51回/本田 美登里さん AC長野パルセイロ・レディース監督
- 第52回/小田 與之彦さん 株式会社加賀屋 代表取締役社長
- 第53回/廣井 紀文さん 株式会社ディーテス 代表取締役社長
- 第54回/羽生田 豪太さん 株式会社羽生田鉄工所 代表取締役
- 第55回/中島 麻希さん 1級フードアナリスト
- 第56回/齋藤 安彦さん 宮司
- 第57回/屋敷 陽太郎さん NHKチーフプロデューサー
- 第58回/平山 優さん 歴史研究者
- 第59回/西村 知子さん 寺町商家運営アドバイザー
- 第60回/広瀬 毅さん 株式会社CREEKS 広瀬建設設計室代表
- 第61回/浅野 哲也さん AC長野パルセイロ監督
- 第62回/中島 恵理さん 長野県副知事
- 第63回/服部 秀人さん 信州・橋の日推進協議会専務理事/エコファーマー
- 第64回/平尾 勇さん 長野県観光機構エグゼクティブ・プロデューサー(前松本市商工観光部長)
- 第65回/野池 裕子さん ダイヤモンド・セルフ長野ファースト 代表・講師
- 第66回/愛甲 宏明さん 炭平コンピューターシステム株式会社 代表取締役社長
- 第67回/坂橋 克明さん フリーパーソナリティー
- 第68回/宮下 秀樹さん 株式会社守谷商会 執行役員、国立長野高専客員教授
- 第69回/金田一 真澄さん 公立大学法人 長野県立大学 学長
- 第70回/笹本 正治さん 長野県立歴史館 館長
- 第71回/山本 克也さん 長野市芸術館 総支配人
- 第72回/AO VIVO(アオ・ヴィーヴォ):竹内 浩一・中川 雅紀・山極 ありじ優子・長谷川 裕晃・中田 寿寛
- 第73回/山浦 直人さん 土木・環境しなの技術支援センター理事、長野県立歴史館客員学芸員
- 第74回/松本 克幸さん 協栄電気興業株式会社 取締役副会長
- 第75回/大室 悦賢さん 長野県立大学グローバルマネジメント学部教授/ソーシャルイノベーション創出センター長
- 第76回/AO VIVO(アオ・ヴィーヴォ):竹内 浩一・中川 雅紀・山極 ありじ優子・長谷川 裕晃・中田 寿寛
- 第77回/水間 源さん 東御市役所 地域おこし協力隊
- 第78回/小澤 吉則さん 一般財団法人 長野経済研究所 理事・調査部長
- 第79回/AO VIVO(アオ・ヴィーヴォ):竹内 浩一・中川 雅紀・山極 ありじ優子・長谷川 裕晃・中田 寿寛
- 第80回/森田 舞さん ゆめサボママ@ながの 共同代表
- 第81回/新井 精一さん 千広建設株式会社代表取締役
- 第82回/竹内 伊吉さん 大成産業株式会社代表取締役社長
- 第83回/AO VIVO(アオ・ヴィーヴォ):竹内 浩一・中川 雅紀・山極 ありじ優子・長谷川 裕晃・中田 寿寛
- 第84回/シュタルフ 悠紀 リヒャルトさん AC長野パルセイロ監督
- 第85回/若林 健太さん 衆議院議員
- 第86回/越原 照夫さん 株式会社まちづくり長野 常務取締役
- 第87回/FT Naked(エフティー・ネイキッド):林 保之・林 栄一・寺沢 雄一郎・中田 寿寛・長谷川 裕晃
- 第88回/荒井 雄彦さん シノラス株式会社 代表取締役
- 第89回/鈴木 隆治さん NUPRI 事務局次長/鈴木土地株式会社 代表取締役社長
鷲澤 幸一さん NUPRI 副理事長/炭平コーポレーション株式会社 代表取締役社長
- 第90回/松坂 彰久さん 善光寺事務局勤務

わいがや サロン

通信

Vol. 91
2023.11



NUPRI
Nagano Urban Policy Research Institute

NPO法人
長野都市経営研究所

〒380-0834
長野市大字鶴賀問御所町1289-1丸本ビル2F
TEL.026-235-7911 FAX.026-235-6166
www.nupri.or.jp
e-mail:nupri@nupri.or.jp

NUPRI
Nagano Urban Policy Research Institute

NPO法人 長野都市経営研究所

第91回 ローカルテレビ局と地方創生

講師／小谷野 俊介 さん 株式会社 テレビ信州 代表取締役社長

■進行:岩野 彰 /会場:NUPRI事務所 令和5年11月14日(火)18:00~20:00

夏並みの暑さと冬の寒さを行き来した霜月の宵——サロンにお迎えしたのは前回サロンのメを指名された際に「赴任地では、その土地らしい場所に住むことにしていて、当地では善光寺に近い……」と述べられた小谷野俊介さんです。着任1年で感じたことなどをお話しくさしました。

自己紹介

生まれ育ちは埼玉県行田市。行田は戦国時代に石田三成が水攻めするも落ちず、小説・映画『のぼうの城』の舞台になった忍城がある町。江戸時代は忍藩十万石(譜代格)でした。松代藩も十万石なので親しみが湧きます。

1987年、日本テレビ入社。「報道現場」希望が通り、社会部に配属。バブル景気、昭和天皇崩御(89)、即位の礼・大嘗祭(90)……と続き、93年には宮内庁担当となって皇族方の主なお出かけには必ずついていくように。前年あたりから皇太子さま(現・天皇陛下)の結婚お相手は誰なのかとメディアがヒートアップ。各社が関連報道の自粛申し合わせをするという、報道協定を経験。

95年は阪神淡路大震災、オウム真理教による地下鉄サリン事件など、事件・災害が多発。沖縄では普天間飛行場返還の動きが高まっていました。出張後、「行かせてください」と(日本テレビ系列はなくカメラマンのみだった)那覇支局に赴任したのは97年。3年間でしたが普天間問題は未だ解決をみません。

沖縄サミットを機に本社に帰り、2008年からは日曜夕方『真相報道 バンキシャ!』、平日最終版の報道番組『news zero』などの番組プロデューサーに。朝の情報番組『スッキリ!!』では、ああいキャラクターの方(加藤浩次さん・テリー伊藤さん)がどういふうにニュースを切るのか、非常に勉強になりました。畑違いだった総務部門長を務めた後の昨年6月、コチラに参ったわけです。

テレビ局を取り巻く環境

電通の「日本の広告費」によると、22年の日本の総広告費は7兆円超。過去最高だった07年を15年ぶりに超えました。内、マスコミ4媒体(新聞・雑誌・ラジオ・TV)の広告費が約2.4兆円、インターネット広告費が約3.1兆円と、4媒体より多いのが15年前とは異なります。デジタル検索に連動する広告が成長したのと、ネットフリックスやアマゾン、YouTube等を含んでいることが大きいです。当社も『ゆうがたGet!』をTVerで企画を配信しています。

お分かりだと思いますが、TVを見る人とネットを見る人の割合が変わってきているんですね。「主なメディアの平均利用時間」(年層別グラフ)によれば国民全体で見ればTV視聴が圧倒的に長いですが、20代以下ではネット利用がTVを上回り、30代は拮抗しています。当地を1年間見てきて長野の人は結構テレビ好きでテレビへの期待度が高い、またスポーツ観戦好きと感じました。

系列ネットワークとローカル局

全国のローカル局は5つの系列NNN、JNN、FNN、ANN、TXNに分かれています(右ページの図参照)。長野県は民放4局です。テレビ東京の番組(『…鑑定団』など個性的なコンテンツが多い)は買って土日や深夜に放映しています。



こやの・しゅんすけ 1963年、埼玉県行田市生まれ。高校は隣の熊谷市に通い、東京の大学を卒業後、日本テレビ放送網に入社。30年間、報道に関わった後、人事局長、経理局長。2022年6月、テレビ信州に代表取締役社長として着任。趣味の一つにマラソン

東京のキー局は昨年度、売上が伸びましたが放送収入は減少。イベントやデジタル広告、新規事業、本業以外の土地やホテル等の運用が回復してきていますが、放送収入については原材料高や国際情勢を見れば今年度も厳しい状況に変わりありません。キー局は新規事業やM&Aで会社の規模を大きくしていこうと考えています。ローカル局への配分原資となる放送収入、そしてローカルスポットも減少している。簡単ではありません。

テレビ信州で言うと2023年3月期の売上は前年比97.7%でした。今年度は更に厳しい状況になるでしょうが全国的に同じ傾向です。地上波TVは大きな転換期にあります。どこの局も報道機関であることは大前提でいろいろなことを考えているはず。先ほどお見せしたネットワークは、それぞれの地域に根付いた独立した会社であるべきという前提で成り立っています。

「マスメディア集中排除原則」の規制が緩和方向にあり、持株会社HDの拡大や複数県同一放送となったとき、ニュースはどうするか?そこだけ差し替える?また、民放・NHKとも大きな負担となっている通信基地設備(県内には美ヶ原など約60箇所ある)を共同使用してはどうかということが大きな話題になっており、年内に全国組織が立ち上がります。これら一つひとつをどうしていくかの判断が、ローカル局の大きな課題となっています。

未来はコンテンツの中に

テレビ信州の自社制作比率は13%で全国的に見て高いほうです。『ゆうがた Get!』をはじめとするニュース、情報番組、スポーツ、イベントは生命線! 信州に必要な放送局であるためにはコンテンツ・メーカーでなくてははいけません。

コンテンツ・メーカーであることを意識したイベントが、今年松本にて催した『映画監督 山崎貴の世界』でした。東京から来てくれる人もいて来場者数は松本市美術館では過去2番目。去年長野で『ジブリパークとジブリ展』を開催しましたが、『ジブリ…』は全国巡回展、『映画…』は当社と松本市美術館で立ち上げたオリジナル展! 関連番組やイベントも開催し、山崎さんという超一流のクリエイターと関わったことは社員にとって本当によかった。こういうものが度々出来るわけではありませんが、社員が主体的にガッツリ注力してやったので今後の好例になりました。

SHINSHUオリジナルの創生

外から見ると信州は魅力に満ちた憧れの場所でブランド価値がある。例えば金沢マラソンも長野マラソンでのやり方(風景、気配り、ホスピタリティ)を研究しつつ、更にカラーイメージ手法などを用い、ブランド価値を上げようとしているようにみえます。

信州には山崎監督、スケートの小平奈緒さん、マラソンの大迫傑さんほか、地元だけでなく世界にまで知られた若い有名人がまだまだいて、もっと生かすべきですよ。

来た当初は長野のいろいろをもっとワーツと改革すればいいのにと思いました。しかし善光寺周辺・中央通りの町並み修景を何十年もかけてきたと伺って、急激なドラスティックな変革はこの町に合わないと思うようになりました。少しずつでも確実に変える。横並び意識の排除。山崎監督の諸作品も、当社の『映画…世界』展も小さな人のつながりから始まった… 信州の課題にも主体的に関わる努力をしていきたいので皆さんよろしくお願いたします。

自分がなすべきことに主体性をもって関わることの大切さが印象に残るお話でした。わいがやタイムは話尽きないなか、お開きとなりました。



日本テレビ時代の現場取材風景(沖縄)

系列	局名	所在地	放送時間	特徴
NNN	日本テレビ	東京都	5:00-24:00	総合編成
	テレビ朝日	東京都	5:00-24:00	総合編成
	テレビ東京	東京都	5:00-24:00	総合編成
	テレビ大阪	大阪府	5:00-24:00	総合編成
JNN	朝日放送	大阪府	5:00-24:00	総合編成
	毎日放送	大阪府	5:00-24:00	総合編成
	読売テレビ	兵庫県	5:00-24:00	総合編成
	関西テレビ	大阪府	5:00-24:00	総合編成
FNN	フジテレビ	東京都	5:00-24:00	総合編成
	テレビ西日本	兵庫県	5:00-24:00	総合編成
	テレビ和歌山	和歌山県	5:00-24:00	総合編成
	テレビ山口	山口県	5:00-24:00	総合編成
ANN	テレビ北海道	北海道	5:00-24:00	総合編成
	テレビ青森	青森県	5:00-24:00	総合編成
	テレビ岩手	岩手県	5:00-24:00	総合編成
	テレビ宮城	宮城県	5:00-24:00	総合編成
TXN	テレビ大阪	大阪府	5:00-24:00	総合編成
	テレビ和歌山	和歌山県	5:00-24:00	総合編成
	テレビ山口	山口県	5:00-24:00	総合編成
	テレビ徳島	徳島県	5:00-24:00	総合編成

TV局のネットワークは5系列に分かれる。TBS系のJNN(信越放送含む28局)、日本テレビ放送網系のNNN(テレビ信州含む30局)、フジテレビジョン系のFNN(長野放送含む28局)、テレビ朝日系のANN(長野朝日放送含む26局)とテレビ東京系のTXN(大きな都市圏のみ6局)



『映画監督 山崎貴の世界』のチラシ。展覧会ほかトークイベント、ドキュメンタリー番組放映(TVerでも配信)ほか多くのコンテンツを盛り込んだ

